

# なとり市議会だより

2020.2.1 No.169 令和元年12月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



## CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと…………… P2
- 名取市歴史民俗資料館が開設されます…………… P7
- 台風第19号への対応…………… P9
- N-WATCH (エヌ・ウォッチ) …………… P12

# 議員が聞いた

## こんなこと

# 一般質問

### 一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。12月定例会では、9人の議員から22項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」からご覧ください。



政策

給食費無償化の前にもっと優先順位の高い課題がある



大久保 主計

Q

義務教育費の無償化には大いに賛成である。ただし、学校給食費無償化の前に、もっと優先順位の高い課題があるはず。今後全学年に対象を拡大すると、限られた財源の中から、経常的に年間3億5千万円も支出する試算が示されている。制度設計をきちんとすべく、現段階では十分な理解ができない。法的な根拠など、給食費の無償化について検討する材料もない、示されてもいない。このような状況で、2月定例会に当初予算案を提出されても、どのように判断すべきか、悩むことになる。将来的な財政見通しがなく、いつになったら完全実施ができるか不透明な中で、中学3年生だけを対象に、見切り発車する政策が理解できない。今後、経常的に多額の予算を支出するのであれば、法的根拠と制度設計を明らかにして、再度議論すべきでは

ないか。

また、義務教育費の無償化は、国が進めるべき施策である。国へ強く要望しながら子供たちが健やかに育つ環境整備に取り組んでいただきたい。

A

学校給食費の段階的無償化は私の公約であり、来年度から実施したい。今後、議会や市民の皆様機会を捉えて、丁寧に説明していく。今回は中学3年生のみが対象となるが、いずれ全員が受けられる施策であるので、御理解いただきたい。

質問した内容

1 学校給食費無償化

誰もが利用しやすい  
施設にすべき



齋 浩美

**Q** 公共施設の新築・改築の際には、障がい者などの利用者の参画を推進し、ユニバーサルデザイン仕様とし、また既存の施設については、利用状況や利用者の声を定期的に確認し、よりよく施設を改善していくべき。

**A** 公共施設の新築・改築時の施設計画に当たっては、ユニバーサルデザインを念頭に置き、多くの利用者がストレスなく施設を利用でき、安全性に配慮した施設計画を心がけている。

採用するユニバーサルデザインについては、施設利用者からの要望、施設運営担当の意見、施設の先進事例等を参考に、可能な範囲で取り入れている。

より多くの利用者が求めるユニバーサルデザインを反映するため、どのような場面で障がい者を含む利用者の参画が有効かは、今後検討したい。

また、既存施設のユニバ



質問した内容

- 1 新たな水害対策
- 2 大雨による館腰地区の水害
- 3 防災・減災の取り組み
- 4 共生社会に向けて

ーサルデザインへの対応については、利用者の使用状況、要望等について機会を捉えて確認するとともに、施設管理者として利用者にとって、何か不便・不自由なところがないかなど目配りし、よりよい施設改善に努めていきたい。

名取市自死対策計画の  
取り組みは



小野寺 美穂

**Q** 計画の初年度における、新規事業の取り組みは。

**A** 自死の背景には、さまざまな要因が複雑に関係している。まず、市民の理解促進を図り「悩んでいる人の孤立を防ぎ、安心感を与えるゲートキーパーの役割」を担う人材育成に努める。

また「いのちをつなぐためのネットワークの強化」として、全庁的に自死対策連絡会議を、令和2年1月24日に開催する。

さらにさまざまな分野で自死対策の一翼を担っているという意識を共有するため、医療・保健・生活・教育・労働等に関する相談機関等で構成される自死対策連絡協議会を3月ごろ開催し、地域のネットワーク強化を図る。市広報紙やホームページ等による情報提供や、リーフレットを活用し普及・啓発を行っている。

**Q** 市民向けゲートキーパー研修の実施方法は。

**A** 地域で見守り活動等を担っているボランティアや地区組織団体のリーダー的人材を対象に行っている。今年度は名取市民生委員児童委員協議会研修会と名取市婦連大会で実施した。

**Q** 支援者も自殺企図の対象者とならないという保証はない。支援者のケアもいえる取り組みをすべき。

**A** 支援者がひとりでは抱え込めないよう相談体制の充実を図る。関係機関等と連携しながら、チームで支援できる体制の構築に努める。

質問した内容

- 1 名取市自死対策計画
- 2 愛島台の土地利用



防災

## 土のうステーションの設置箇所を拡充すべき



菅原 和子

Q 令和元年10月12日から13日にかけて、宮城県を襲った台風19号は県内に大きな被害をもたらした。本市の降水量は、357ミリに達し、7地区24カ所で冠水した。浸水被害の軽減を図るため市民が自由に使える土のうステーションがある。台風19号に際しての利用状況は。

A 市内6カ所の土のうステーションに各70袋、計420袋の土のうを準備し、パトロールで利用状況を確認しながら補充した。市役所への直接引き取り等を含め、合計で1370袋が利用された。

Q 今回の利用状況を踏まえ、土のうステーションの設置箇所を拡充すべき。

A 平成30年度は、増田地区2基、令和元年度は増田地区2基、植松地区1基、美田園地区1基の合計4基の整備を行った。令和2年度は、増田地区1基、飯野坂

地区1基の合計2基の整備を予定している。今回の浸水状況を検証し、増設について検討していく。

Q 柴田町では、公共施設等20カ所に土のうステーションを設置している。増田西地区でも6カ所冠水しており、自宅の駐車場で車が水没した人もいることから、増田西地区にも土のうステーションが必要ではないか。

A 土のうステーションの設置については、増田西地区からも要望がきているので検討していく。

- 1 質問した内容
- 2 対応した内容



防災

## アレルギーに配慮した備蓄を進めるべき



菊地 忍

Q さきの東日本大震災を教訓として内閣府は、平成25年8月に「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を示した。その指針には「食物アレルギーの避難者にも配慮し、アルファアミ等の白米と牛乳アレルギー対応ミルク等を備蓄すること」とある。本市でもアレルギーに配慮した備蓄を進めるべき。

A 令和元年11月に「名取市災害用備蓄食料・飲料水の備蓄計画」を策定し、令和2年度から3カ年で備蓄を図っていくこととしている。計画では、アレルギーに関する特定原材料等を含まないうぜりやアルファアミなど食物アレルギーに配慮した整備を行うこととしている。牛乳アレルギー対応ミルク等については、必要な乳児数等の検討を行い、対応したい。

Q さきの台風19号の際に化学物質過敏症の方から「一般の避難所には行けないため、福祉避難所を開設してほしい」との相談があった。要配慮者の中には一般の避難者と別の施設が必要な場合もある。あらかじめ専用の避難所を指定すべき。

A 福祉避難所や専門の避難所の指定をすることは、施設整備や専門的な知識を有する職員の配置が必要であるなど考慮すべき点が多いのが実情である。今後も環境整備に取り組み、指定が可能である場合は専門の避難所として指定したい。

- 1 質問した内容
- 2 対応した内容

不登校問題への取り組みは



大沼 宗彦

**Q** 本市小中学校の、過去3年間の不登校児童生徒数の実態は。

**A** 平成28年度、小学生38人、中学生84人。平成29年度、小学生65人、中学生100人。平成30年度、小学生57人、中学生115人である。

**Q** 不登校を生む要因は。

**A** 人間関係や不安、無気力等と捉えているが、原因がはつきりしないものも多く、背景が多様で複雑である。

**Q** 教職員の情報交換や研修、関係機関との連携に十分な時間を確保し、問題解決に取り組むべき。

**A** 学校では、関係者も含めたケース会議や、不登校にかかわる生徒指導全体会等で情報共有に努めている。教育委員会では、生徒指導問題対策委員会による協議や、研修会を開催し、教職員の資質向上を図っている。  
**Q** 学校と地域が協働し、見守りと支え合いの体制を構築すべき。

**A** 学校や家庭、関係機関等が連携し、組織的で計画的な支援の実施が大切である。

**Q** 関係機関の協力を得て、中学校卒業後の見守りにも取り組むべき。

**A** 中学校を卒業した生徒等に対して、引き続き直接的な支援は難しいが、情報共有など適切な支援のあり方を考えていきたい。

**Q** 質問した内容

- 1 不登校問題
- 2 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)改正案
- 3 水害に強いまちづくり



愛鳥地区の道路整備を進めるべき



郷内 良治

**Q** 県道愛鳥名取線において、菅生までの延伸についての考えを伺う。

**A** 市道上平愛鳥台線から愛鳥台団地を通過し、菅生まで至るルートが考えられるが、あくまで構想ルートの一つである。仙台空港と東北自動車道を結ぶ道路は、宮城県横断自動車道が地域高規格道路に位置づけられており、例年、広域行政協議会や市長会等において、国や県に計画路線への格上げを要望している。

**Q** 仙南4市9町において道路延伸に取り組み、実現を図るべき。

**A** 平成25年度の県南サミットにおいて、本市からの要望事項として、宮城県横断自動車道の整備を県に対し働きかけた。今後も県南サミットなどさまざまな機会を捉え、国や県に要望を行っていくとともに、仙南4市9町の理解を深めていきたい。

**Q** 市道箕輪二ツ森線を市道道祖神愛鳥台線に接続すべきと考えるが。

**A** 現在、市道道祖神愛鳥台線は、愛鳥台までのアクセス道路として、ダムのつかかえ道路事業に合わせ整備を進めている。市道箕輪二ツ森線は、旧ナスパ入り口まで完成しているが、両道路の高低差がおよそ100メートルあるため、ルートや整備手法など大きな課題がある。まずは市道道祖神愛鳥台線の完成を優先し、その後に調査研究を進めていく。

**Q** 質問した内容

- 1 道路整備
- 2 公共施設の設置
- 3 イノシシ対策

政策  
学校給食費無償化に  
負担軽減以上の効果を



吉田 良

子育て  
子供たちの人権と  
命を守る取り組みは



大友 康信

Q 来年度、中学3年生の給食費を無償化するというのが、学校給食費の段階的無償化を選挙公約とした理由は。

A 子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、本市が子育て・教育に力を入れているという強いメッセージを発信できると考えた。

Q 学校給食法に、学校給食費は児童生徒の保護者の負担とするという規定がある。公約を決定する際、このことを知っていたのか。

QA 知らなかった。このような規定がある理由をどう捉えているのか。

A 実費については、受益者負担の原則が理由だと思おう。

Q 給食費無償化を負担軽減だけで終わらせるのではなく、安全で自然と調和したオーガニック給食の実施に結びつけるよう検討すべき。

A 現状では難しいと考えるが、実施している自治体もあり、調査研究していく。

Q 日本は世界第二の農薬大国と言われ、また遺伝子組み換え作物が大量に輸入されている。無償化の財源で、給食の安全性を高めるべき。

A 使用される食材は国の基準を満たしており、安全であると認識している。

Q 長野県旧真田町では、給食から農薬等を排除した結果、健康や学力が改善したという。韓国は、全国で給食のオーガニック化と無償化を進めている。これらを参考に検討してはどうか。

A 安定納入等の課題があり、幅広く研究していきたい。

- 質問した内容
- 1 災害に強いまちづくり
  - 2 学校給食費の段階的無償化
  - 3 第2期地方創生総合戦略

Q いじめやひきこもり、虐待など、子供を取り巻く環境は悪化している。子供のSOSを受けとめるために、18歳までの子供たちの相談先である「チャイルドラインみやぎ」を広く市民にも周知すべき。

A 本市では「こども相談カード」を作成し、毎年夏休み直前に各学校の全ての児童生徒に配布している。カードには、チャイルドラインのほか「子どもの人権110番」や「24時間子供SOSダイヤル」などの子供たちが直接相談できる相談先を記載して周知している。今後は市ホームページ等でも周知を図りたい。

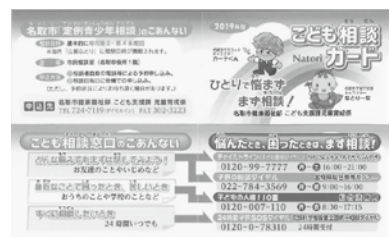
A 保護者や大人からの相談先についても各家庭にカードで周知されている。

Q チャイルドライン開設当初に半数を占めた小学生からの相談が減少したのは、相談する機会や環境が失われたことが要因と考えられる。

A 学校、児童センター、公民館や図書館等の公共施設に、電話と椅子、周知チラシを設置して、子供がチャイルドラインに相談できる環境をつくるべき。

A 子供のプライバシー保護を最優先に考えなければならぬ。相談している姿を他の子供たちの目から守ることは、大変難しいと捉えている。公共施設に専用電話を設置するなどの環境整備は考えていないが、子供たちが安心して相談できる相談先の周知に努めていく。

- 質問した内容
- 1 防災体制の強化
  - 2 子供たちを守る取り組み



# 12月定例会 議案審議

## 名取市の こんなことが決まりました

12月定例会 会期 12月4日～16日

### 12月定例会の議案は

#### 市長提出議案

条例	11件
補正予算	6件
議決案	5件
<b>議員提出議案</b>	
条例	1件
意見書	2件
<b>計25件</b>	

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をご覧ください。



〔議案第100号〕 名取市歴史民俗資料館条例

### Pick up 1

令和2年春、旧名取市図書館を改修し、名取市歴史民俗資料館を開設します

本市の考古資料、歴史資料、民俗資料、郷土資料、埋蔵文化財等の保存・活用により、市民の文化の向上に資するため「名取市歴史民俗資料館」の設置及び管理について定めるものです。

こんな質疑がありました

#### 施設の管理運営について

Q 館長やその他職員の体制は。

A 館長は常勤の職員を予定している。そのほかに専門的な知識を有する職員と事務職員を配置する予定だが、今後調整する。

Q 資料館のスペースを一般に貸し出す業務も行うのか。

A 施設の一般貸し出し等を行う予定はない。

Q 専門的な知識や資格を有する職員は、何人配置する

のか。

A 本市には現在、文化財の専門的な知識を有する職員は3人おり、来年度に向けて新たに1人採用を進めている。実際の配置については、今後調整を行う。

AQ ボランティアの活用は。

平成30年度から募集し、現在22人の方に登録している。体験学習のための研修等を行っており、さまざまな形で協力している。ただ、これを考えている。

## Pick up 2

**地域の経済と雇用を支える中小企業・小規模企業の創意工夫と自主的な努力を支援します**

中小企業・小規模企業は、本市の経済の発展や雇用の

場の創出に重要な役割を果たしています。その振興に関する施策の基本となる事項や関係者の役割等を明らかにし、市民生活の向上に寄与するため制定するものです。

こんな質疑がありました

**条例制定による取り組みについて**

**Q** 第4条に「市の責務」と

あるが、今後取り組み具体的な施策や予定等は。

**A** 市民に、本条例の趣旨を

周知する。また、条例の理念を実践するため、令和2年度に（仮称）検討会議を設置し、事業の実施状況の検証や、今後取り組み新たな事業の意見を集める。

**Q** 具体的に予算化して行う施策は。

**A** 事業内容の見直しも含めて、対象となる。

**Q** 条例制定前の施策も検証の対象となるのか。

**A** 事業内容の見直しも含めて、対象となる。

**Q** 施策の実施状況の検証結果を公表する時期の考えは。

**A** ある程度まとまった期間で、施策が実施できているかなどを検証し、公表する。

**Q** 令和2年度の施策としては、各種事業を継続する。名取市商工会が実施する支援事業は、連携を密にしな

がら協力していきたい。

**A** 令和2年度の施策として

は、各種事業を継続する。名取市商工会が実施する支援事業は、連携を密にしな

がら協力していきたい。

がら協力していきたい。

## Pick up 3

**台風第19号により発生した被害の復旧に向けた取り組みを進めます**

こんな質疑がありました

**台風第19号への対応について**

**Q** 災害ごみ処理委託料の内容は。

**A** 稲わら処理委託費及び災害ごみの運搬費、処理困難物の処理委託費などである。

**Q** 災害ごみの分量の内訳は。

**A** 現時点で稲わら4470トン、処理困難物として外壁材等10立方メートル、混合廃棄物5立方メートル、そのほかテレビなどの家電や金庫、消火器を見込んでいます。

**Q** 集会所建設補助金の内容は。

**A** 床上浸水した愛島北目原集会所の床や外壁等の修繕に要する費用の一部を補助する。地元契約会が所有する集会所であり、国の災害復旧の対象とならないため、市の単独費で補助を行う。

**Q** 非常備消防費における修繕料の内容は。

**A** 巡回中に水の被害を受けた消防団積載車1台分と、消防団車庫2カ所のシャッターの修繕料である。



審議結果

▶賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名（議席番号順）															
					大泉 徳子	大久保主計	齋 浩美	菅原 和子	吉田 良	大友 康信	佐々木哲男	大沼 宗彦	佐藤 正博	長南 良彦	相澤 祐司	小野寺美穂	郷内 良治	山口 實	山田龍太郎	菊地 忍
第6回定例会	市長	議案第103号	名取市職員の給与に関する条例及び名取市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員	議案第104号	名取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員	議案第2号	名取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をごらんください。



No.1

第5回臨時会（10月28日）

台風第19号への対応について

令和元年10月12日から13日にかけて市内を襲った台風第19号について、市長から被害状況や災害対応の取り組みに関する一般市政報告がありました。また、被災者支援等に要する費用についての補正予算審議等を行い、全会一致で可決・承認されました。

○一般市政報告について

市民からは何件くらい、どのような内容の通報があったのか。

○コールセンターを開設し、155件の通報があった。

避難所の場所や増田川、樽水ダムの状況等についての問い合わせがあった。

○農地の稲わら処分についての対応は。

現在国から示されている補助の概要を踏まえ、仮置き場等を設置する。市としても取り急ぎ撤去の必要があると捉えている。

○豪雨による樽水ダムの緊急放水について、宮城県とはどのように連携したのか。

管理事務所から随時連絡を受けており、最終的に緊急放水に至らなかった。

○自主防災組織への対応は。

電話で116団体の会長に連絡した。

○今回の災害を受け、防災計画を含め、課題等を整理する予定はあるか。

そのようにしたいと考えている。

○議案第93号 専決処分の承認について

災害ごみの仮置き場の数は。

○議案第95号 令和元年度一般会計補正予算(第5号)

市有地に2カ所設置する。災害援護資金貸付金の対象の想定は。

○議案第95号 令和元年度一般会計補正予算(第5号)

床上浸水や床下浸水などを対象に、150万円を上限に100件を見込んでいます。

## No.2

12月定例会では、1件の請願と5件の陳情が提出されました

## 請願

## ◎採択

建設経済常任委員会に付託された次の請願は、12月16日の本会議で採択しました。

◇政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願

(一般社団法人宮城県タクシー協会)

会長 佐々木 昌二氏

## 陳情

◇乗り合いバス「なとりん号」に関する陳情

(愛島台自治会)

会長 中山 透氏 ほか4人

◇本郷地区内の道路整備等に関する陳情

(本郷契約会)

会長 高橋 昭五郎氏

◇山神線及び成田線の道路拡幅に関する陳情

◇飯塚成田線の着工・完成に関する陳情

◇鹿島草倉田線の着工・完成に関する陳情

(下余田町内会)

会長 齋藤 博氏 ほか1人

## No.3

令和元年度議会懇談会を開催しました

議会懇談会は、市議会の活動を報告・説明し、より近くで市民の皆様の声をお聞きするために、平成21年度から開催しているものです。

今回は平成30年度に引き続き、一般市民の方々を対象とした懇談会に、市内の関係団体の方々を対象とした懇談会も合わせて開催しました。

復興の進捗状況や地域の課題などをテーマに懇談を行いました。さまざまな視点から、貴重なご意見やご要望等を伺うことができました。

伺ったご意見等については、検討を行い、市当局に対して必要な提言を行いました。

報告書は、各公民館や名取駅コミュニティプラザで配布しております。また、市議会ホームページでもごらいたいただけます。



No.4

議員協議会（10月11日、28日）  
名取市第六次長期総合計画基本構想(案)等について

○名取市第六次長期総合計画基本構想(案)及び名取市第五次国土利用計画(案)について

9月2日に開催した議員協議会に引き続き、新たな地域経営の総合的な指針となる長期総合計画について、基本構想(案)や、各分野における施策の方向や成果指標、主要施策等を示した基本計画(案)に関する、具体的な協議を行いました。

○地方公務員法改正に伴う職の整理について

法改正により、会計年度任用職員制度が導入され、現在の臨時・非常勤職員の仕組みが変わることから、新たな区長制度や公民館の職員体制等に関して説明がありました。

No.6

議員協議会（11月18日）  
学校給食費の段階的無償化等について

○名取市第六次長期総合計画基本構想(案)及び名取市第五次国土利用計画(案)について

これまで開催した議員協議会での指摘を踏まえた修正案のほか、パブリックコメントや地区別懇談会の実施結果等が示され、計画全体について協議をしました。

○学校給食費の段階的無償化について

子育て支援の新たな取り組みとして、学校給食費の段階的無償化を実施するとの説明がありました。令和2年度から市内の中学3年生を対象とし、経費は市の一般財源を充てる考えが示され、検討の経過や財源の見通し、今後の進め方などについて協議を行いました。

No.5

議員協議会（11月12日）  
閑上地区の町名及び町界変更等について

○閑上地区の町名及び町界変更について

閑上地区の土地区画整理事業に伴い、区画整理後の道路等に合わせ町名や町界を変更するものです。住民説明会やアンケートの結果から、県道塩釜巨理線と2つの区画整理事業区境界を町界として「閑上西」「閑上中央」「閑上東」に分ける案が示されました。

○北釜地区土地利用について

北釜地区の防災集団移転跡地について、都市計画マスタープランに掲げる土地利用の実現を目指し、企業誘致の受け皿として、復興交付金の導入を図りながら段階的に整備を進めるとの説明がありました。

No.7

議員協議会（11月25日）  
愛島台の土地活用について

○愛島台の土地活用について

事業提案募集を行っていた愛島台の土地活用について、事業の経過や、合意に至った包括協定案の内容等の説明がありました。

企業誘致を進めるための地区や段階的な住宅供給を行う地区、メガソーラーを誘致する地区といった利用計画が示されました。

市が事業主体となって開発行為全体の進行管理を行い、事業提案者は包括協定に基づいて造成や販売支援を行うとの説明がありました。

# N WATCH

エヌ・ウオッチ

今号の表紙を飾ってくれた、宮城県農業高等学校牛部と経営者クラブの皆さんからお話を伺いました。



2年生 岩間 ほのか さん(左)  
3年生 川井 つむぎ さん(右)

### どんな活動をしていますか

牛の世話をしながら、搾った牛乳を生かした商品開発を行い、地元企業や大学、大手コンビニと連携し、名取の特産品として販売しています。

### クラブ活動の魅力は何ですか

生産者として6次産業化に取り組みながら、全国各地を回り、たくさんの仲間と交流し、視野を広め、自分の成長を感じられることです。

### 開発した商品のPRをしてください

アイスクリーム「もう蜜」は、乳牛1頭ごとの個性を見きわめた味にこだわりました。大手コンビニ売り上げ1位のおいしさを御賞味ください。

### 議会を読もう

名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでもごらんいただけます。



### 議会を傍聴しよう

会議はどなたでも傍聴することができます。会議の日程は、市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局(022-384-2109)へお問い合わせください。



令和2年2月定例会は、**2月21日(金)**開会予定です。

### 会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひご利用ください。



### 議会を動画で見よう

本会議の様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひご利用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



### 議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

## 編集後記

委員  
菅原 和子

昨年、県内を襲った台風第19号は本市に大きな被害をもたらしました。12月議会では「災害被害者に対する市税の減免に関する条例」が制定されました。また「歴史民俗資料館条例」が制定されました。この歴史民俗資料館は、旧名取市図書館に整備され、本市の旧石器時代以降の通史を学ぶことができる資料館です。

敷地内には雷神山古墳を模した築山がある広場が整備されるなど、親子で楽しめる施設です。入場は無料となりますので、ぜひ足を運んでみてください。これからも情報発信に努め、議会だよりが市民の皆様にも親しまれるよう、なお一層の努力を重ねてまいります。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

